

(様式1)

平成22年5月21日

富山県教育委員会教育長 殿

学 校 名 富山県立砺波工業高等学校

校長氏名 染 川 芳 正

平成22年度学校経営計画を別紙(様式2・3)とともに提出します。

平成22年度 学校経営計画

1 学校教育目標

(1) 教育目標

真理と平和を愛し、社会に貢献しうる工業人の育成を目標とし、有能な技術者としての資質を高め、工業の発展を図る能力と実践的態度を育てる。

(2) 教育方針

- ・誠実・友愛・自律を校訓とし、健全な心と強健な身体の発達を促す。
- ・各学科の専門分野に関する基礎的な知識と技術を身につけ、技術革新に対応できる能力を養う。
- ・創造性を養い、社会の進展に対応できる自主的な行動力を育てる。

校 訓 (生 活 標 語)

誠 実 友 愛 自 律

2 学校の特徴

ものづくりを中心とした日常の学習活動や、部活動・ボランティア活動などの課外活動を通じて、健全な心身や人格を育み、将来は地域のものづくり産業を支え、社会に貢献できる実践的な能力やたくましさを身につけた人材の育成を目指す。

3 学校の現状と課題

ア. 課 題 「時代の変化に対応した工業教育の推進」

イ. 課題設定の趣旨

個々の生徒の可能性を引き出し、時代の変化に主体的に対応できる柔軟な頭脳と個性の伸長を図りたい。そのため明るく活力にあふれた学校づくりに努めるとともに、日常生活における道徳的実践力を身につけさせ、学習活動と特別活動両面の指導を強化し、自ら学ぶ意欲を育て、問題解決に自発的に行動できる人間を育成する。

ウ. 現状と問題点

将来の目標をしっかりと掲げ高校生活を有意義に活動している生徒も多くいるが、多様化した生徒の中には、目的意識が薄く無気力でいろいろなものに対する成就感を味わえない生徒もいる。また、時間を持てあまして規範意識の低下による生徒指導上留意すべき生徒もいる。これらを課題の趣旨から鑑み、学校全体の問題として捉えて多方面から対処していく必要がある。

(様式2)

4 学校教育計画

項目		目標と計画	
1	学習活動 重点1 重点5	目標	<ul style="list-style-type: none">○ <u>生徒の実態に対応した教科指導の充実と地域に根ざした開かれた学校を目指す。</u>○ <u>生徒が自ら目標を持って、自主的に資格検定に取り組む姿勢を持たせるとともに、より高度な資格にも挑戦する意欲を持たせる。</u>○ <u>電気工事士資格取得の学習を通して、安全・効率を考えた技術・技能を習得させる。</u>○ <u>積極的に資格取得に取り組み、家庭学習の大切さと自信を身に付けさせる。</u>
		計画	<ul style="list-style-type: none">○ <u>年に2回、教員の互見授業週間を設定し互見授業を実施する。教員相互に授業方法や授業の工夫を研究する。</u>○ <u>宿題や課題を与え、家庭学習する習慣をつけさせるとともに、資格検定記録用紙を学期末に配布回収し達成度を振り返らせる。</u>○ <u>放課後の補習を、学科の体制として組み、主務、副務などを明確にし、教員チームで指導にあたる。</u>
2	学校生活 重点2 ⑤ ⑧	目標	<ul style="list-style-type: none">○ 盗難の防止、交通事故0を目指す。○ 基本的生活習慣の確立を目指すとともに、モラルの向上を図る。○ 「望ましい生活習慣」に対する共通理解と指導の充実、強化を図る。○ <u>教育活動中の体調不良や負傷を未然に防ぎ、授業や部活動に集中できる、安全で快適な環境整備に努める。</u>○ 支援を必要とする生徒の早期把握と迅速かつ適切に対応する。
		計画	<ul style="list-style-type: none">○ カギかけチェック週間を実施し、盗難のない環境づくりに努める。○ <u>生徒保健委員会を活性化し、生徒からの積極的な意見や提案を出す場となるようにする。</u>○ <u>各科と連携して、授業や部活動中に起こる負傷の原因と行動パターンを探り、注意を喚起する。</u>○ 県の高校スクールカウンセラー配置事業等を活用し、研修とカウンセラーから個別の助言を合わせて年5回以上行う。
3	進路支援 重点3	目標	<ul style="list-style-type: none">○ <u>年度内進路決定者100%を目指す。</u>○ <u>生徒一人一人に応じた就職・進学指導を充実することにより確実な進路選択ができるようにする。</u>○ 早い時点から進路意識を高めるためにも、インターンシップの手引きを活用する。
		計画	<ul style="list-style-type: none">○ <u>企業訪問をして求人確保を行うとともに、卒業生の動向や求める人材の情報を収集し、指導に生かす。</u>○ <u>1次不採用者の支援を十分にいき、ミスマッチに繋がらない指導を行う。</u>○ 面接カードを作成し、複数の先生の指導を仰ぐ。
4	特別活動 重点4 ④ ⑦	目標	<ul style="list-style-type: none">○ <u>団体競技における上位入賞を目指す。</u>○ ホームルームや生徒会活動を通して生徒の自主的・実践的な態度を育てるとともに、生徒間及び生徒と教員間の相互理解を深め校訓の実践と実現を目指す。○ 蔵書のデータを電子化し、検索システムにより利用しやすくする。
		計画	<ul style="list-style-type: none">○ <u>生徒とともに行動することで個々の生徒に目を向けることができるよう部顧問の時間確保に努める。</u>○ 生徒には元気な挨拶や元気な声を出させるよう指導し、活気のある部活動を目指す。○ 蔵書データの電子化を8月末までに完了する。
5	その他	目標	<ul style="list-style-type: none">○ 地域社会との積極的な交流を通して、工業人としての誇りと自覚を持たせる。
		計画	<ul style="list-style-type: none">○ 各種の地域イベントに参加し、おもちゃの病院などの地域要請にできるだけ応える。○ 地域との交流活動及びボランティア活動を校内の生徒全体に広げるよう努力する。

